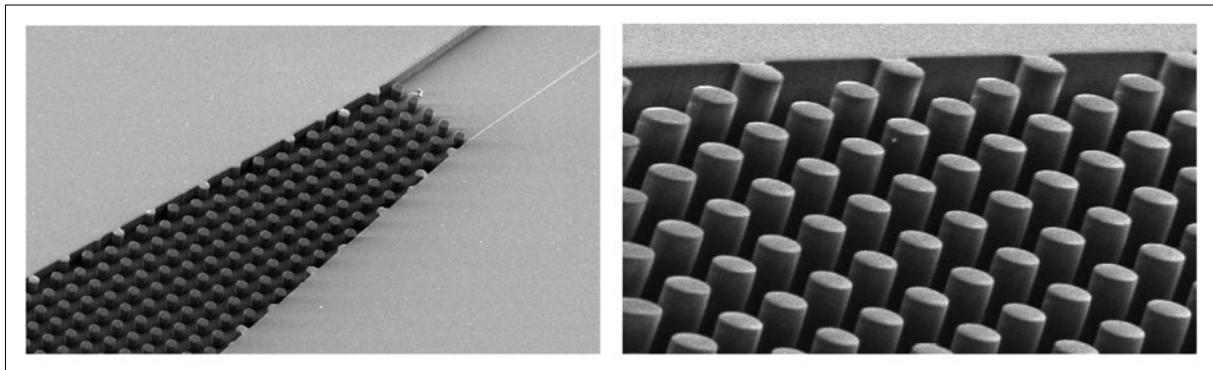


Doc. No.: NR081203

2008年12月3日

株式会社テックインテック、SCIVAX社との連携により ナノインプリント事業に参入 ～高輝度LED量産装置の実用化へ～

株式会社テックインテック(本社：京都市南区/社長：西澤 久雄)はこのほど、SCIVAX株式会社(本社：神奈川県川崎市高津区/社長：田中 覚、以下SCIVAX社)との間で、超微細加工を低コストで実現するナノインプリント技術に関する連携に合意。関連業界に参入するとともに、同技術を活用した高輝度LED量産装置の製品化に向けた共同事業を開始しました。



ナノインプリント技術による加工サンプル(電子顕微鏡写真)

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

近年、電子デバイス業界では、精密な型を樹脂やシリコンウエハーなどの対象物に押し付けて超微細な凹凸パターンを直接形成するナノインプリント技術が、デバイスの性能向上と製造コスト抑制を実現する新たな加工方法として大きな注目を集めています。照明用LED、フラットパネルディスプレイ、半導体業界などの各デバイスメーカーでは、2010年以降の量産を目指し、プロセス技術の開発が活発化。そのため、製造装置や材料など、関連するさまざまなメーカーでは、量産化に向けた技術開発が急務となっています。

今回の連携では、このような業界の動向を背景に、SCIVAX社の持つナノインプリント技術と当社の装置化・製造技術の融合により、高精度と低ランニングコストを兼ね備えた量産装置の製品化を推進。従来の研究用装置から本格的な量産ラインへの早期移行を目指します。当面は、環境意識の高まりとともに急激に需要が増加している照明用白色LEDにおいて、大幅な輝度向上を実現する量産装置の実用化に着手。従来の露光、現像プロセスなどが不要になるため、製造コストの大幅な抑制と生産性の向上を実現します。さらに同技術は、さまざまな分野への応用が可能のため、市場の急激な拡大が確実視されており、今後は高輝度LEDのほかバイオデバイス、次世代LSIへの展開も視野に入れ、共同事業をより一層推進していく予定です。

当社は、今回のSCIVAX社との連携により、従来の半導体製造装置事業に加え、今後急速に成長するナノインプリント業界への本格参入を図り、新たな分野における事業の拡大を加速させていきます。

●本件についてのお問い合わせ先

株式会社テックインテック 製造部 西田：Tel 075-931-7781 Fax 075-931-1820 〒601-8206 京都市南区久世大藪町 425

<株式会社テックインテックの概要>

所在地：京都市南区久世大藪町 425

設立：1983年9月1日

代表者：代表取締役社長 西澤 久雄

資本金：4億8,000万円

従業員数：110人

主な業務：半導体製造装置、検査機器、製版用検版ソフトウェア、カラー液晶用製造機器、その他特注装置の開発・設計・製作

U R L：www.techintech.co.jp

※ 株式会社テックインテックは、大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：橋本 正博)が100%出資するグループ会社です。

<SCIVAX 株式会社の概要>

所在地：神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク東棟502

設立：2004年2月5日

代表者：代表取締役社長 田中 覚

資本金：4億750万円

従業員数：28人

主な業務：ナノインプリント事業、三次元細胞培養事業、技術コンサルティング

U R L：www.scivax.com